

日 絹 月 報

平成 27 年 1 1 月号 第 4 6 4 号

発行：一般社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 衣類等の新しい洗濯表示に関するパンフレット等を作成・公表
2. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP協定）における工業製品関税に関する大筋合意結果を公表
3. 第 9 6 回通商問題委員会の開催
4. 第 5 回日中韓繊維産業協力会議の開催

◇ 衣類等の新しい洗濯表示に関するパンフレット等を作成・公表 ◇

平成 2 7 年 1 0 月 7 日

経済産業省

経済産業省は、衣類等の新しい洗濯表示について、主に消費者への普及・周知、及び正しい理解を図るため、消費者庁と共同でリーフレット及びパンフレットを作成・公表します。

1. リーフレット・パンフレット作成の背景

平成 2 7 年 3 月に家庭用品品質表示法※）に基づく繊維製品品質表示規程が改正され、平成 2 8 年 1 2 月から、衣類等の繊維製品の洗濯表示を、従来の J I S L 0 2 1 7 から新しい J I S L 0 0 0 1 になったものに変更します。新しい洗濯表示では、記号の種類が 2 2 種類から 4 1 種類に増え、記号が全て変わります。

このため、新しい洗濯表示について、主に消費者への普及と正しい理解を図るため、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会等の協力を得て、消費者庁と共同でリーフレット及びパンフレットを作成・公表します。

※ 家庭用品品質表示法（昭和 3 7 年法律第 1 0 4 号）は、消費者が日常使用する家庭用品を対象に、商品の品質について事業者が表示すべき事項や表示方法を定めており、これにより消費者が商品の購入をする際に適切な情報提供を受けることができるように制定された法律です。繊維製品に関する表示すべき事項及び表示方法は、

同法に基づき、繊維製品品質表示規程（平成９年通商産業省告示第５５８号）において定められています。

2. 今後の予定

今回作成したリーフレット及びパンフレットを経済産業省及び消費者庁のホームページに掲載します。（下記のURLをご覧ください。）

また、消費者団体等にリーフレット及びパンフレットを配布、活用等行うことで、新しい洗濯表示の普及・周知を図って参ります。

経済産業省ホームページ

http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/ki_jyun/index.html

標準化・認証：「衣類等の新しい洗濯表示」

担当

経済産業省 産業技術環境局 国際標準課

電話：０３－３５０１－９２７７

発表資料

- ・ 衣類等の新しい洗濯表示に関するパンフレット等を作成・公表します－新しい洗濯表示の普及と正しい理解に向けて－ (PDF 形式：165KB) 
- ・ 洗濯表示リーフレット (PDF 形式：1,119KB) 
- ・ 洗濯表示パンフレット (PDF 形式：1,309KB) 

◇ 環太平洋パートナーシップ協定（TPP協定）における工業製品関税に関する大筋合意結果を公表 ◇

平成２７年１０月２０日

経済産業省

環太平洋パートナーシップ協定（TPP協定）における工業製品関税（経済産業省関連分）に関する大筋合意結果を取りまとめましたので公表します。

1. 大筋合意結果の概要

相手国（TPP協定交渉参加１１か国）及び我が国の工業製品関税に関する大筋合意結果の概要は別紙１のとおりです。

2. 合意の詳細

相手国及び我が国の工業製品に関する大筋合意の詳細は別紙２及び別紙３のとおりです。

担当

経済産業省 通商政策局経済連携課

通商政策局経済連携課長 金子

経済連携交渉官 吉澤

担当者：伊藤、柏原、渡辺

電 話：０３－３５０１－１５１１（内線 ２９８１～２９８２）

０３－３５０１－１５９５（直通）

発表資料

- ・環太平洋パートナーシップ協定（TPP協定）における工業製品関税に関する大筋合意結果を公表します(PDF 形式：188KB) 
- ・【別紙１】環太平洋パートナーシップ協定（TPP協定）における工業製品関税（経済産業省関連分）に関する大筋合意結果(PDF 形式：396KB) 
- ・【別紙２】TPPの大筋合意における相手国の工業製品（経産省関連）に関する合意の詳細(PDF 形式：1,916KB) 
- ・【別紙３】TPP大筋合意における我が国の工業製品（経産省関連）に関する合意の詳細(PDF 形式：1,035KB) 

◇ 第９６回通商問題委員会の開催 ◇

第９６回通商問題委員会が１０月２７日（火）に開催され（１）日本の繊維貿易の現状（２）EPA交渉の状況（３）EPA産業協力の状況等について説明があり意見交換が行われた。

１．日本の繊維貿易の現況について

（１）輸出入全般の動向

①２０１５年１月～８月の累計及び８月の現状

- ・円ベースでは、輸出は前年同期比１０８．４％、輸入は同１０７．３％。
- ・輸出（円ベース）は、前年同月比が２０１３年３月からは２０１５年２月を除きプラスが続いている。

項目	２０１５年８月				２０１５年１月～８月			
	金 額		前年同月比		金 額		前年同月比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	81.032	658	108.4%	90.6%	648,732	5,360	108.4%	91.6%
輸入	430,737	3,495	113.0%	94.4%	2,856,536	23,625	107.3%	91.0%

②繊維品別輸出入実績（２０１５年１月～８月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	111.9%	繊維原料	106.2%
糸類（紡績糸・合繊糸）	104.2%	糸類（紡績糸・合繊糸）	107.1%
綿糸	104.5%	綿糸	95.0%
毛糸	100.5%	毛糸	125.2%
合繊糸	104.6%	合繊糸	107.5%
織物	110.0%	織物	109.0%
綿織物	109.6%	綿織物	100.3%
毛織物	107.0%	毛織物	105.3%
合繊織物	112.7%	合繊織物	114.7%
二次製品	106.7%	二次製品	107.3%

（２）各国・地域別輸出入の動向

①輸出（２０１５年１月～８月累計・前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）１０５．５％、米州１２３．７％、欧州１０７．７％引き続き堅調に推移。
- ・中国は、１０３．０％。シェアは１．６pt ダウンの３０．９％へ。
- ・アセアン主要国は引き続き好調を維持。全体では１０７．０％、ベトナム１１３．４％、インドネシア９９．８％、ミャンマー１１７．８％。アセアンのシェアは２１．９％（前年比▲０．２pt）。中でもベトナムのシェアは９．３％（前年比＋０．５pt）まで伸長。
- ・米州は１２３．７％と好調。シェアは１．３pt アップの９．９％へ。

②輸入（２０１５年１月～８月累計・前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）１０７．９％、米州１１０．５％、欧州１０１．１％。
- ・中国は、１０２．７％。シェアは前年比２．９pt ダウンの６２．８％へ。
- ・アセアン全体では１２４．３％。中でもミャンマー１１８．８％、ベトナム１２７．０％、インドネシア１１９．４％と、大幅な高水準を保っている。アセアンのシェアは２１．１％（前年比＋２．９pt）まで拡大。中でもベトナムのシェアは、９．３％（前年比＋１．４pt）まで伸長。
- ・バングラデシュも１３７．６％と大幅増が続く。（２０１５年４月からニット衣類製品の特恵関税が１工程基準に緩和された。）

２．次回日程について

第９７回通商問題委員会は、１１月２７日（金）１４時～１６時

◇ 第5回日中韓繊維産業協力会議の開催 ◇

11月5日、中国の深圳において第5回日中韓繊維産業協力会議が開催された。

会議では、「各国の繊維産業の現状」「日中韓FTA」「繊維産業の環境・安全問題」「アパレル・ファッション産業協力事業」について、意見交換が行われた。本会からは荒井理事長が参加した。

日本側の繊維産連下村会長は冒頭のあいさつで「世界経済は、成長の主役であった新興国経済が総じて足踏み状態の中、米国経済は回復が継続し、欧州の景気は持ち直し傾向にあります。先行きは未だ予断を許さない状況にあります。

その中で日本は、2012年末の政権交代後、安倍政権のアベノミクス効果で景気は基本的に回復基調で推移してきましたが、昨年4月に実施された消費税増税後は、景気はややスローダウンし、生産の回復に足踏みが見られました。

しかし、企業収益や雇用・所得環境は引き続き改善しており、基調としては緩やかながらも景気は回復していく見通しです。

一方で、繊維産業の事業環境全般に目を向けますと、生産面では一部に回復の動きがあるものの、リーマンショック前の水準には程遠い状況が続いています。

さらに円安傾向に推移したことによるエネルギー等のコストアップで、採算面でも非常に厳しい状況に陥っています。

しかしながら、日本ではデフレ脱却へ向けて、様々な施策が打ち出されており、我々繊維産業業界にとっては、消費者の本物志向が高まっている中で、日本の繊維産業の技術力、意匠力を発揮した高付加価値品をマーケットに訴求できる絶好の機会になっていると考えています。

また、現在日本を巡って交渉が進んでいる広域経済連携交渉は、長年の交渉の末、先月初めにTPPが大筋合意に至ることができ、他の交渉へ影響を与えると期待しています。

輸出拡大に止まらず、輸入の活用、貿易・投資を促進することで、世界市場に向けた商流をさらに拡大し、需要創造につなげるチャンスであると考えています。

我々繊維業界にとっては、現在の貿易の実態そして今後の市場拡大という戦略的な面からも、交渉中のFTAの中で、日中韓FTAこそが、最も重要なFTAであると考えており、この課題に積極的に取り組んでいきます。

我々三カ国における繊維産業は、消費者のニーズが高度化し、マーケットも高度化する中で、量的にも質的にも世界を引っ張っていく段階にあり、その責任と気概を持って、行動していかなばならないと考えています。

第1に、世界各地で広域経済連携が急速に進展し、世界のボーダーレス化が急速に進んでいます。

その中で、我々日中韓三カ国は世界の繊維先進国、そして世界最大の繊維産業集積地であることを強く意識し、我々繊維産業業界自らがFTA/EPAの意義と効果について検証し

て、積極的に推進していく必要性があります。

日中韓FTAを早期に相互の繊維産業の発展に繋がる貿易自由化の仕組みとするためにも、繊維産業があらゆる産業のフロントランナーであるということを意識し、高いレベルの内容に仕上げなければならない。

そして、日中韓がリードする形で、アセアン、豪州、ニュージーランド、インドを含めて広域経済連携であるRCEPに好影響を与え、高いレベルの内容に推し進めていくべきと考えています。

今後の政府間の交渉を加速させるためにも、今まで以上の闊達な議論が展開されることを期待しています。

第2に、新興国が台頭する中、日中韓三カ国の市場はますます高度化し、消費者からのニーズの多様化、サプライチェーンのさらなるグローバル化が急速に進展しています。

その中で、昨今は、製品への安心・安全のニーズに加え、企業の社会的責任が非常に高まっており、我々三カ国の繊維業界が一丸となって対処していく必要があります。

サプライチェーンがますます複雑になっており、我々三カ国の業界同士が協力して、消費者からの厳しい要求に応えていくことが、今後の繊維産業の発展につながると確信しています。

第3は、全世界が急激に成長するアジア市場を注目する中、我々三カ国はアジアの、そして世界の繊維・ファッションの先進国であることを強く意識して、アジアのファッションを世界に発信する活動を強化する必要があります。

アジア地域は中長期的に見ても、まだまだ成長できる高いポテンシャルを有しており、三カ国の力を合わせた事業のあり方について、意見交換をしたいと思います。

最後に、日中韓の繊維業界は、共存共栄・WIN—WINの関係を共に目標にできるパートナーであると信じています。

共に成長、発展できるよう手を携えて協力し、世界の繊維産業をリードしていく気概を持って、相互の信頼関係をぜひ強化して行きたいと思います。」と述べた。

日中韓繊維産業協力会議を実効性の高いものにするため、日本繊維産業連盟（JTF）、中国紡織工業連合会（CNTAC）、韓国繊維産業連合会（KOFOTI）間において、以下の点について合意に至った。

1. 日中韓FTAに関して日中韓繊維産業業界は、各々の期待を表明するとともに、重要な課題について十分な意見交換を行い、繊維産業の自由貿易を促進するために対話と協力を深めることで合意した。
2. 世界に繊維製品市場における環境・安全問題の重要性に鑑み、日中韓繊維産業業界は、三カ国で共有する情報を更に活用していくこと、また、環境・安全問題への意識

向上と全体的な水準を高めるために、共同で研究作業を行い、相互訪問を促進して行くことで合意した。

3. ファッションに関する協力事業に関して、三カ国間の情報ウェブサイトの構築、デザイナーの交流から、本年議論されたテーマであるデジタル・ファッション・アワードに至る新しいデザインの発表へとさらに協力を進める。将来的には、分野を広げて協力事業を推進することで合意した。
4. 日中韓三国繊維業界は、緊密な対話と協力のために、第6回日中韓繊維産業協力会議を韓国で開催することに合意した。また、その準備のための実務委員会（WG）を東京で開催する。

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報（全国版） ◇

中小機構では、J-Net 21スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されているWEB情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することが出来ます。

中小機構ホームページ <http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>
(日網ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)

(公募中案件)

2015/10/5 掲載

認定経営革新等支援機関等が行う中小向け消費税転嫁対策講習会開催経費を補助

(中小企業基盤整備機構)

【平成27年度「消費税転嫁対策講習会」補助金の利用機関募集（第3期募集）】この事業は、消費税率の引き上げや制度変更の円滑な実施に向けて、認定経営革新等支援機関等が行う中小企業者向けの消費税転嫁対策に係る講習会に対し、開催に係る経費を補助することで、それらを促進し、中小企業者が円滑かつ適正に消費税を転嫁できる環境を整備することを目的としています。このたび、補助金の利用機関を募集します。※先着順とし予算の上限に達した時点で締め切ります。

2015/9/10 掲載

割賦支払／賃料支払に係る手続き (中小企業基盤整備機構)

割賦制度の利用が更新されました。適用日は9月10日からです。割賦制度を利用すると、初期投資の負担が軽減されます。

動 向

- 10月27日 日本繊維産業連盟 第96回通商問題委員会
- 10月29日 日本ファッションウィーク推進機構
The Japan Observatory at MU 2016AW 反省会
- 10月30日 東レ経営研究所 特別講演会
「日本の産業競争力復活に向けて - 企業、人材、リーダーシップのあり方 - 」
- 11月 2日 大日本蚕糸会 蚕糸功労者表彰式
- 11月 5日 第5回日中韓繊維産業協力会議
- 11月 6日 本場大島紬織物協同組合
創立百周年記念～国民文化祭かごしま2015～
- 11月16日 経済産業省 第1回和装振興協議会
- 11月20日 全国中央会 第67回中小企業団体全国大会
- 11月20日 繊維産業流通構造改革推進協議会 第16回経営トップ合同会議

会議予定

- ☆ 当会 絹織物部会及び化合繊維物部会並びに先染・後染化合繊維物専門委員会合同会議
11月25日（水）12時 ～ 於：蚕糸会館
- ☆ 日本繊維産業連盟 第97回通商問題委員会
11月27日（金）14時 ～ 16時 於：繊維会館
- ☆ 繊維産業流通構造改革推進協議会 「第2回取引改革委員会」
12月 4日（金）14時30分 ～ 17時 於：TFTビル
- ☆ 繊維評価技術協議会 平成27年度第3回理事会
12月 4日（金）14時 ～ 15時30分 於：KKRホテル東京
- ☆ 日本繊維産業連盟 第2回常任委員会
12月 9日（水）14時 ～ 16時30分 於：東海大学校友会館
- ☆ 当会 正副会長・正副理事長会議
12月10日（木）12時 ～ 於：日絹会館

イベント

- ☆ JFW JAPAN CREATION 2016
11月25日（水）～ 26日（木）10時 ～ 18時30分
会 場：東京国際フォーラム ホール1

☆ Premium Textile Japan 2016 Autumn/Winter

11月25日（水）～ 26日（木）10時～18時30分

会場：東京国際フォーラム ホール2

☆ IFFT interiorlifestyle living

11月25日（水）～ 27日（金）10時～18時（最終日 17時まで）

会場：東京ビッグサイト

☆ 桐生「きりはた」12周年 きもの・帯 新作発表会

12月 3日（木）～ 5日（土）10時～18時（最終日 17時まで）

会場：ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」

☆ 十日町紬絁春物新作発表会

12月 8日（火）～ 9日（水） 9時～17時

会場：京都 パラドール烏丸ビル

☆ 越後三産地（小千谷・塩沢・十日町）合同織物新作発表会

12月10日（木）10時～17時

11日（金） 9時～16時

会場：綿商会館

☆ 2016 西陣織展

1月29日（金）～ 31日（日）10時～17時（最終日 16時まで）

会場：西陣織会館 5F・6F

☆ 2016 桐生テキスタイルプロモーションショー

3月 9日（水）～ 10日（木）10時～18時（最終日 17時まで）

会場：青山テピア